

「室蘭洋上風力関連事業推進協議会（略称：MOPA）」は、国内で続々と導入計画が進む洋上風力発電について、室蘭市の港湾や産業集積を生かし関連事業の誘致を図るため、2020年1月21日に設立されました。MOPAは、産官学連携により室蘭港のポテンシャルを国内外にアピールし、東北以北の一大拠点港として地元産業の活性化を目指していきます。

2020年1月21日に株式会社栗林商会(室蘭市入江町)で開催された総会には、株式会社栗林商会、株式会社日本製鋼所、株式会社電材ホールディングス、日鉄セメント株式会社、室蘭開発株式会社、室蘭市などの各代表が出席しました。同日、名称及び会則が承認されました。

洋上風力発電は近年、欧州を中心に導入が拡大し、日本でも関連法案が施行され、各地で大規模な開発計画が進行しています。洋上風力発電は風車を設置する海域の風況や水深だけでなく、発電設備をあらかじめ陸上で組み立てるため、実施海域近くに拠点となる港が必要となります。

室蘭港は大規模投資をせずとも拠点港に必要な岸壁の水深や地盤強度条件を既に満たしています。また、室蘭港周辺には基礎構造体を製造できる企業や洋上風力建設に必要な十分な産業が集積しているほか、室蘭工業大学などの学術研究機関とも連携することで関連技術の研究開発拠点ともなりえます。

MOPAは、室蘭港が持つ洋上風力のポテンシャルを生かし、国内外の事業者に積極的なアピールを行います。同時に、地元に対し洋上風力事業の将来性など、周知や理解を広げる活動にも取り組みます。

当面は、青森県近海で計画中の事業を目標に、室蘭港の拠点港選定を目指します。水深や強度が十分な崎守埠頭を部材置き場や組み立てヤードとして、市や港湾事業者、土地所有者と協業し、製造コストやメンテナンスに優れる浮体式構造体の製造、研究開発でも意見交換を行って参ります。